

令和3年度

生活困窮者の自立支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮者へのより一層の支援の強化が求められています。本研修では、市町村に求められる包括的な支援体制のあり方や効果的な事業の進め方などを学び、地域の実情に応じた具体的な支援のあり方について考えることにより、生活困窮者の自立支援に必要となる施策の企画立案・実施能力の向上を図ります。

研修のポイント

- 生活困窮者自立支援法や重層的支援体制整備事業などの包括的な支援体制の概要や構築について学びます。
- 支援事業の事例紹介を通じて、相談から自立に至るまでの支援を切れ目なく包括的に提供するための施策や実施について考えます。
- 生活困窮者自立支援制度における相談支援の演習を通じて、受講者同士で各自治体の取組や課題を共有し合い、地域の特色を活かした包括的な支援策について学び合います。

開催要領

日 程

令和4年1月31日(月)～2月2日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- 生活困窮者支援に関わる市区町村等
- 社会福祉協議会の職員及び行政と協働実績のあるNPO法人等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年12月10日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年

1月
31日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講義 生活困窮者自立支援制度と包括的な支援体制の構築

厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室

生活困窮者自立支援制度が持つ意義及びコロナ禍における生活困窮者への支援の状況や、改正社会福祉法の施行により創設された包括的な支援体制を構築するための重層的支援体制整備事業など、様々な制度の概要や今後の課題等についてお話しいただきます。

14:25~15:35

事例紹介 多様な就労支援と地域づくり

一般社団法人釧路社会的企業創造協議会 代表理事 櫛部 武俊 氏

釧路市における就労準備支援事業等の具体的な取組例をご紹介いただきながら地域共生社会の実現における「中間的就労」の多様な可能性と実施する際のポイントや課題について理解を深めます。

15:50~17:00

事例紹介 家計改善支援事業

グリーンコープ生活協同組合連合会常務理事 生活再生事業推進室長

行岡 みち子 氏

家計相談事例についてご紹介いただき、家計を立て直すための支援方法や横断的な支援のあり方について理解を深め、家計改善支援における多角的視点の重要性や相談員に求められる役割について学びます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00

講義 アウトリーチによる自立相談支援

認定特定非営利活動法人抱樸 理事長 奥田 知志 氏

アウトリーチでの支援が必要とされる社会的背景を踏まえ、これからの支援が目指すべき方向性や課題について、生活困窮者に寄り添った手法から学びます。

13:00~14:10

事例紹介 一時生活支援事業

特定非営利活動法人POPOLO 事務局長 鈴木 和樹 氏

委託を受け実施している一時生活支援事業(POPOLOハウスやフードバンク事業など)の取組内容について、これまでの成果や静岡県内12市と結んでいる広域実施協定について、他事業との連携、コロナ禍での状況、今後の課題等についてご紹介いただきます。

14:25~15:35

事例紹介 子どもの学習・生活支援事業

千葉県八千代市健康福祉部健康福祉課福祉総合相談室 主査補

長谷川 淳一 氏

子どもの学習支援事業(居場所事業)を導入するに至った経緯から、大学との協力による人材確保の方法や事業を実施していく中で見えてきた課題、コロナ禍での対応等についてご紹介いただきます。

15:50~17:00

事例紹介 生活困窮者への職業紹介事業立ち上げ

茨城県龍ケ崎市福祉部生活支援課 主幹

龍ケ崎市無料職業紹介事業所 職業紹介責任者兼就労支援員 寺田 遼 氏

コロナ禍の中、支援員として職業紹介事業所を開設された経緯をはじめ、実際に事業所を開設される上で苦労されたことやその中で見えてきた課題、これからのビジョンについてお話しいただき、同じ立場の支援員の方へ向けてメッセージをいただきます。

9:25~14:10

**演習・ふりかえり 生活困窮者自立支援制度における相談支援
～受講者同士の事例紹介～**

上智大学総合人間科学部社会福祉学科 准教授 鍋木 奈津子 氏

受講者同士で、各自治体の生活困窮者自立支援制度における支援の取組内容について情報交換することを通じて、各地域での支援策について学び合い、最後に研修全体をふりかえります。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和4年

2月
2日(水)

● 本研修の事例紹介については、上智大学総合人間科学部社会福祉学科 准教授 鍋木 奈津子 氏にコーディネーターとしてご指導いただきます。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。